京城日報
十三日 夕刊 (日)
夕刊一部 定價金貳錢
編輯兼發行人 ……　印刷人 ……
京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社京城日報社 發行所

一路獨墺合併へ邁進

サン・ゲルマン條約を破棄
實現の第一段階へ

【リンツ十二日同盟】オーストリア首相ザイス・インカート氏は十二日夜リンツ市におけるヒトラー總統との會見席上オーストリアはその獨立を規定するサン・ゲルマン條約第八十八條を正式に破棄する旨を宣明、新ナチス政府の獨墺盟邦方針は茲に鮮明にされた、因みにサン・ゲルマン條約は世界大戰終了と同時に聯合國とオーストリアとの間に締結されたもので、第八十八條は左の如し

オーストリアの獨立は國際聯盟理事會の同意ある場合を除く外動くべからざるものとす、從つてオーストリアは該理事會の同意なくして、直接又は間接に且つ各種の手段によりその獨立を危くすべき性質を有する何等の行爲をなさざることを約す

軍事的援助に過ぎぬ
英佛の抗議を獨政府一蹴

【ベルリン十二日同盟】ドイツ政府は英佛兩政府がドイツの對墺最後通牒並にそのオーストリア進軍に關し嚴重抗議したのに對し、十二日午後直ちに回答を發し右抗議を一蹴した、その回答内容は左の如きものと解される

ドイツ政府はオーストリアに對し傳へられるが如き最後通牒も出さず又宣戰布告も行つてゐない、オーストリア進軍は唯ナチス政變の結果墺內相より正式に出動方を要請したのに即應しただけで、云はゞ友邦に對する軍事的援助に過ぎない、フランスのルール占領とこれに對するイギリスの承認とは性質を異にするものである

獨軍墺國進入公式發表

【ベルリン十二日同盟】ゲッペルスドイツ宣傳相は十二日新聞記者團に對し**ドイツ軍隊は十二日午前五時三十分獨墺國境を越えてオーストリア領內に入つたことを公式に發表した、**兩國國境に集結したドイツ國防軍の精鋭は、十二日早曉より行動を起し午前中に西部國境を突破した、ドイツ軍隊はオーストリア軍の先導でチロル地方の要地インスブルグに到着し、中央部においてはドイツ步兵部隊の一聯隊がザルツスブルグに、又北部のリンツにはザルツスブルグから北進した部隊の一部が既に到着してゐる

ヒ總統ウインに入る

【ウインナ十二日同盟】ヒトラー總統は十二日夜リンツを出發同地からウインナ街道の小邑アムシユタッテン或は他に一泊の豫定で、十三日多分午前中總統の誕生地を經へ晴れのウイン入を行ふはずである

好意的中立を守る（伊國政府）

【ベルリン十二日同盟】イタリー政府はドイツ側の打診に對し十二日「一、ドイツのオーストリア進出に對しては好意的中立を守る一、同問題につきストレーザ戰線の復活をはかるやうなことはない」旨を回答した、ドイツ政府としては今後は英佛の動向が問題だが、ドイツ消息通は結局大事に至らないと見てゐる、しかし今後オーストリア獨立の法律的形式、外債問題及びユダヤ人問題を繞り英佛兩國との關係は益々激化の一途を辿るものと見られる

ミユンヘンに作戰本部設置

【ベルリン十二日同盟】ドイツ政府は十二日ミユンヘンに國防軍最高司令部並に空軍總司令部の作戰本部を設置した

獨政府に抗議

【ベルリン十二日同盟】駐獨イギリス大使ヘンダーソン氏、フランス大使ポンセ氏は十二日正午相次いでドイツ外務省を訪問各本國政府の訓令に基きドイツ軍のオーストリア進入に對し嚴重抗議をした

余の故鄕の地オーストリアへ
ヒ總統放送

【ベルリン十二日同盟】十二日夜ドイツ全國並に全國民に放送されたヒトラー總統の演說は左の如し

オーストリアの國民投票はシユシユニツク首相に於てたくまれた欺瞞的選擧である、墺國內における數百萬の我がドイツ同胞はこの欺瞞的選擧に團結一人の如くになつて立上つたドイツ政府はこのシユシユニツク暴政のドイツ民族壓迫を見るに忍びずこれを救助するに決した、今はドイツ總統並に首相の資格において又一個のドイツ人並に自由の市民として、再び余の故鄕の地たるオーストリアを踏み得たることを喜びとし、全世界はオーストリア國內におけるドイツ人の無上の喜びに包まれてゐることを知らねばならぬ（寫眞ヒ總統）

◇　◇　◇　◇

木島部隊
大部隊擊破

【南京十二日同盟】揚山南方を掃蕩中の木島部隊は、十一日午前一時下任鎭南方地區に於て一千の敵を擊破した外、主力は十一日午前十一時半東浦山附近に於て五百の敵兵を擊破、更に午後二時には孤山北側高地に於て約一千の敵と遭遇之を北方に擊退し午後二時宇萬泉を占領した、敵の遺棄死體は東浦山三百、孤山二百、萬泉東北高地三百我に損害なし

歐洲諸國に惡影響を及ぼす
英國政府緊急閣議後聲明

【ロンドン十二日同盟】イギリス政府は十二日緊急閣議を開きオーストリア問題に對する重要措置を協議し、次の正式聲明を發表した

緊急閣議はオーストリア問題につき討議を行つたが、席上政府はヘンダーソン駐獨大使を通じドイツ政府に最も強硬な抗議を提出することにした、更にチエンバレン首相はハリハツクス外相よりも目下ロンドンに滯在中のフオン・リッベントロップドイツ外相に對し同樣抗議を提出したとの報告があつた、閣議はドイツ政府の行動並もつて英獨關係並にヨーロッパ諸國に惡影響を及ぼすものであるとの意見に一致した、閣僚は今週末何れもロンドン附近に留り閣議は十四日再開の豫定である

駐伊英大使
伊外相訪問

【ローマ十二日同盟】駐伊イギリス大使パース卿は、十二日午前イタリー外務省にチアノ外相を訪問オーストリア問題につき協議を遂げた

ブレンネル（獨伊國境）峠に
獨逸國旗飜る

【ミユンヘン十二日同盟】國境を越えて西部オーストリアの要地インスブルグに到着のドイツ機械化部隊は、快速を利して更に南進十二日午後一時早くも伊墺國境のブレンネル峠に到着し、茲に獨伊兩友邦の軍隊は圖らずも相會することとなつた

【ブレンネル＝伊墺國境十二日同盟】ドイツ國境を越えて十二日午前インスブルグに到着したドイツ機械化部隊の一部は、アルプス步兵隊長指揮の下に午後一時には早くも伊墺國境のブレンネル峠に到着山頂高くドイツ國旗を飜した部隊長はイタリー側國境でイタリー守備隊長と會見盟邦獨伊兩軍が歷史的交驩を遂げた

武力で抵抗
チエツコ政府發表

【プラハ十二日同盟】チエッコスロバキア政府はオーストリアのナチス化に重大脅威を感じ、十一、十二の兩日緊急閣議を開きドイツ軍進入に對しては飽まで武力を以て抵抗する態度を決定、十二日左のコムミユニケを發表した

ドイツ軍が國境を突破チエッコスロバキア國內に進入する場合は、チエッコスロバキア政府は飽まで武力を以つて之に抵抗する

墺國軍も近く獨に派遣

【ウインナ十二日同盟】オーストリア（……）る筈である

反ナチス派を檢擧
前首相の身邊危し

【ウインナ十二日同盟】オーストリア政府は反ナチス派の國外逃亡及び國內侵入を防止するため十二日遂に國境線を封鎖し內外の交通を遮斷した模樣で、國內は引續き反ナチス派の檢擧が行はれ、シユシユニツク前首相も早晩檢擧を免れぬと見られるがシユシユニツク前首相は反ナチス派の國外亡命の勸告を斥けて逃に依然ヴエルヴエルデア宮內の一室に蟄居を續けてゐる

スイス政府
警備隊を增强

【チユーリツヒ十二日同盟】スイス政府は獨墺の危機に伴ひ十二日朝來オーストリア國境警備隊の增强を行ひ、反ナチス分子の國內流入を阻止その他萬一の事態に備へてゐる

インカート首相
合邦を宣言

【ウインナ十二日同盟】ザイスインカート首相を首班とするオーストリア新政府は、近く國民投票を執行シユシユニック首相退任に伴ふ獨墺兩國關係の提攜强化を國民總意に問ふに決した、オーストリア政府は國民投票の結果をまつて獨墺合邦を宣言すると見られる

【ベルリン十二日同盟】ドイツ政府はオーストリアナチス政權の確立を以て事件は一段落を告げるものと見てゐるが、なほ對外情勢の萬一の變化に備へる爲、國防中樞部は未だ戰時態勢の姿勢をとつてゐる模樣である

チエッコ國境
極度に緊迫

【プラハ十二日同盟】ドイツ軍のオーストリア進入に、隣國チエッコスロヴアキヤに甚大な衝擊を與へ早くもドイツ軍の武力脅威に對し對策に腐心しつつあるが、チエッコスロヴアキヤ政府は十二日午後遂にオーストリア、チエッコ國境その他に亡命オーストリア人二百を始め一切の旅行者の入國を禁止した、國境方面一帶の封鎖斷行と共に極度の緊迫を呈してゐる

ドイツ國防軍のオーストリア入りを迎へて十二日正午コンミユニケを發表、ドイツ國防軍の動員に答へて近くオーストリア國軍をドイツに派遣する旨聲明した

死刑の判決
ブハーリン等

【モスコー十三日同盟】ブハーリン、ルイコフ以下二十一名にかかる反革命陰謀事件公判は十三日いよいよ判決に入り、ウルリッヒ裁判長はラコフスキー、プレッネル、ベッソノフ三被告を除き全被告十八名に對し死刑を宣告し、プレッネル被告には二十五年ラコフスキー被告二十年、ベッソノフ被告十五年の懲役に處する旨それぞれ判決を下した、尙死刑の宣告を受けた被告十八名は二十四時間以內に死刑を執行されるはずである

總動員法案
又復一波瀾

【東京電話】十二日午前の衆議院國家總動員法案委員會は政友會宮脇長吉氏再び統帥權問題を提げて法相に追及漸く本法案の審議は軌道に乘り質疑を十三日で打切らうとする矢先、意外の波瀾を生み總動員法案の前途に重大な暗影を投じた、即ち宮脇氏は本法のつと憲法第十一條第十二條の統帥大權並に編成大權との間に重大なる疑義ありとて杉山陸相に質した、陸相の答辯は要領を得ず更に齋藤隆夫氏(民政)瀧田國松氏(政友)等から質問したが、陸相の答辯は依然として委員側の納得を得るに至らなかつた

國共の軋轢激化
蔣介石窮地に陥る

【上海十三日同盟】漢口來電によれば國共合作の立役者として事變以來漢口にあつて國共兩黨間の連絡に當ると共に共產黨側のスポークスマンとして活躍を續けてゐた朱恩來は最近共產黨中央部の不滿をかつて召還命令を受け、既に陝西省に歸還したと傳へられる、而して最近漢口における共產黨の宣傳工作は著しく活潑となり、中國共產黨機關紙新華日報の發行部數は既に二十五萬を突破、共產黨領袖毛澤東の自叙傳、朱德の傳記、第八路軍の活動狀況等共產軍關係刊行物の賣行きは夥しい數に上つてゐる、國民黨はこの共產黨の活潑な宣傳工作が漸次民心を吸收し國民黨の國民指導權を奪はんとするに非常に脅威を感じこれが對策につき努めつゝあり、この結果國共兩黨の間は日にく疎隔の途を辿りつゝありと傳へられる、國共合作に原則決定當初兩黨の間に締結された協定は、國民黨の優位を認め共產黨は國民黨の指導のもとに諸政策を支持すると云ふにあつたが今や共產黨內部においては國民黨の指導權を認めず、兩黨平等の立場において協力すべしとの主義も漸次行はれ、一方共產黨內部においては急派の抗日強化しつゝあり、抗日の前に國共合作の最惡に出でた蔣介石氏はこれら共產黨勢力の進出、國共對立の激化に非常な窮地に陥つてゐる

獨逸國防軍
寫眞(上)防空軍幹部左から二人目フオンブロムベルグ將軍、四人目ヘルマンゲーリング將軍(中)砲兵隊の演習(下)國防軍の行進

本府辭令（十二日發令）

本府事務官　高橋敏
同　石田千太郞
本府技師　猪俣憲一
同　川澤章明
同　油井信治
本府檢事　鈴木裕
勅任官ヲ以テ待遇セラル

陞叙高等官三等（江原道廳）齋藤大吉
朝鮮土木主事ニ任ス（七等待遇）
江原道土木主事ニ補ス

日曜日氣配（三月十二日）

▲期米　三月一日現在の鮮存米は內地少く鮮內相當多く賣氣溢在近柄內地、朝鮮百萬石買上げ發表に氣配沸騰し遂に四十錢高見當となる
▲株式　玉整理一巡に買入氣乍ら依然押月待ちと消極的にて氣配不變
大新九一七〇東新一六三〇〇鐘紡二六五三〇、滿重八五三〇
▲綿糸　不變

天地玄黃

×
歐洲の風雲急、ヒトラー總統乘出す、正義は解決の鍵だ
×
精神的援助と、日本精神の注入、これにて私立專門校の無為精神强化は完し
×
防空施設の平時利用化、考へねばなるまい
×
貧乏部隊長、物質的總動員を說く、味ふべきもの多し
×
スポーツの春窓を開く、此處にも非常時を反映せしむべし

本日夕刊四頁

蒲生三勇士 (119)

一龍齋貞丈演　木俣茂彌畫

大助意外の吐息

ソコで田中和平治が萬事引受けまして、おてるを羅ケ岡の別莊へ連れて來て、多くの女中を附けて置き、おてる樣〳〵と云つて侍かせ、折々田中和平治が來ては御機嫌又は殿がお出で遊ばして御酒の御相手をさせる。今では只お疑問の端を消さないと云ふだけの事で總へては御妾のお取扱ひでございます。おてるはモウ心苦しくてたまりません、どうかしてお暇を頂し度いものだと思ふが、抑々貰れよう道理はございません。どうしたものかと色々思案の末、思ひのたけを細々と認め、朝路といふ氣に入りの女中を呼んで、

てる『頂、朝路や』

朝『ハイ』

てる『外ではないが、此の手紙を持つてお前吉田村の吉田幸太夫樣へ行つて、此の名宛の御方に手紙を上げて貰し度い』

朝『承知致しましてございます、此の村上樣といふお方に貴方樣からと云つて、お渡し申せば宜しいのですね』

てる『アヽさう云へば分るから、夫れにお前は此頃暇を取りたいといふのでチョイ〳〵話があつたが望み通りお前にお暇を上げるへ、夫れに此のお金を上げるから、少しではあるが取つて置いておくれ』

朝『有難う存じます、夫れでは明朝頂戴を致しまして』

てる『イエ明日の朝ではいけない、今夜お暇を戴いて退つてお呉れ』

朝『夫れではと今夜と申しましても種々荷物などを取片付けなければなりませんから、お暇下りは明朝に致しまして、今夜は只お使ひに行つて參りませう』

てる『アヽさうかい、夫れなら夫れでも宜しい』

朝『畏まりました』

と朝路といふ女中は手紙を預かつて出て參りましたが、間もなく顔色を變へて戻つて參りました。

朝『只今歸りました』

てる『朝路や、大分顏の色が惡いが、どうしたのだい、先樣へ差上げて呉れたかい』

朝『飛んでもない事を致しました、吉田村へ參る途中で、お手紙を落しましてございます』

てる『アレマア』

朝『彼方此方と探しましたが、どうしても分りません』

てる『お前此の羅ケ岡の御屋敷内へ落したのぢやアないかい』

朝『イエ確にお屋敷内へは落しません』

てる『夫れならまだしも宜かつたが、夫れではモウ一遍書くから今度は落さないやうに持つて行つてお呉れ』

朝『承知致しました』

と是からおてるが二度目に書いて渡した手紙を持つて朝路といふ女中は、吉田村を指して出掛けて參りましたが、羅ケ岡から一里十二三丁しかございません、吉田村、名主吉田幸太夫の家の前へ來ると、其所に下男が一人居りました。

朝『アノ吉田幸太夫樣の御宅は此方でございますか』

○『ハイさうでございますよ』

朝『アノ御宅に村上大助樣と仰しやる御方が、お出でゞございませうね』

○『ハイお出でなさいますよ』

朝『アノ左樣でございますか、私は羅ケ岡の御屋敷から參りました者でございますが、此の御手紙を村上樣に一寸お渡しなすつて、御返事を戴いて參りたう存じます』

○『アヽさうでございますか、少しお待ちなさいまし』

其男が中へ入つて來て女中に渡す、女中が三人の男の部屋へやつて參りまして、

女『アノ御手紙でございますが……』

大『アヽ左樣か、誰に』

大『アヽ、おてるよりの手紙か、ハテ何の用であるか……』

と村上大助が披いて暫く見て居りましたが、苦笑ひをして、

大『アヽ、困つた事が出來た』

と云つて、ホッと溜息を吐きました。